学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月16日(木) 41号

テストの範囲の発表は明日くらいになります。中間テストに向けてスタートです。

独り言

今日(15日)ねんりんを休んだら、Kさんに「先生、今日ねんりんは？」と聞かれ、帰りの学活の時には、森口先生の命を受けたNさんが「先生、今日ねんりんないですか？」とたずねに来た。やっぱり休刊はいかんと思うことしきりでした。

※きのう(14日)、今日(15日)と大きなことがあった。三つともが今年度の国内十大ニュースにえらばれるんじゃないかと思う。みんなもすでに新聞やテレビで知っているだろう。

(1) 信楽高原鉄道で満員列車が正面衝突し、42人死亡、464人かけがをした。(十四日、午前十時四十分頃)

(2) 横綱千代の富士が引退。国民栄誉賞、三十一回優勝、通算1045勝、53連勝などの輝しい記録を残す。夏場所三日目の取組終了後に発表。

(3) 安倍晋太郎元外相・自民党幹事長が15日死去。六十七歳。この三ニュースはみんなにはどこかこない人がいるかもしれない。大きな事というのはなぜか続いておこるように思う。

あゆみより

※今日AちゃんとBさんと一緒に帰っていたら、前からへんなおじさんが歌うたいながらこっちにきました。そのおじさんも自転車にのってすれちがうとき「べっぴんやのー」といいました。そしたらAちゃんがふりむいて「ありがとう」と叫びました。

※今日お母さんが、じいちゃんの検査につきそうために一日いませんでした。だからお母さんのかわりに夕ご飯を作ったり風呂もしたり、洗たくしたりして疲れました。でもお母さんは毎日こういう事をして大変なんだなあと思いました。⟶やってみてはじめてわかる、やカラ言う人は、お母さんの家事も手伝え。

※今日あゆみを書いていると、お母さんが部屋にやってきて、あゆみを読もうとしたので隠すと「先生の通信だけ」と言い読みました。読んだあと、これどんなこと書いたんと結局私のあゆみを読むことになります。でも私は読ませないで口で言いました。⟶いかん、これから、通信もていねいな字でかこうと思った。しかし名近くの人の通信をみると、どうしても雑になってしまう。佐野先生や後藤田先生、阿部先生、みんな字上手ですよ。あっ、忘れていた、森口先生も。

県中・高校武道大会

(徳島新聞)

第二十二回県中学・高校武道大会(県ライオンズクラブ主催、徳島新聞社など後援)が十二日、徳島市内の県立中央武道館で開かれ、柔道、剣道、弓道の三競技に、県内三十中学校、二十八高校から七百三十人が技を競った。

【柔道】中学団体①阿波②板野③藍住、吉野▽同個人①山辺功(藍住)②渋谷充省(板野)③荒秀人(阿波)、大隅智志(北島)▽高校団体①徳島商②阿波③城ノ内、鳴門▽同個人①平田裕喜(徳島商)②近藤秀作(城ノ内)③前田篤志(徳島工)、井上正志(徳島市立)

た、三人だったから笑えたけど、もし私一人だったらかなりこわいもんがあると思います。⟶あたりまえです。バカなこと言たりしてはいけません。要注意ですゾ。

※今日の理科の実験をしたのだけど、とーってもおもしろくて実験するのが大好きになりました。特にKくんがリトマス紙をなめて「今日は中性じゃ」とか言ておもしろかったです。他にもあゆみには書ききれないくらいいっぱいありました。そして私はKくんとは同じ組になるのは初めてで話したのも初めてだったのでKくんの性格がよくわかりました。⟶中性だ～。とんなんかな あ。人体は中性なんですか？ で、K君に聞いてみたら今日は、ひや汗が出たので酸性といっていました。

※C組のN君のあゆみに出ていたクイズ。ただし「笑っていとも」を見た人はわかる。

(1) 肉にあって魚にない！ 葉っぱにあって木の実にない。サザンにあって、ユーミンにないものは。

(2) 交差点のこの○のところに何を買いに行ったでしょう。

(3)

まきちゃん	さちこ	なんてん	?
0m	3m	7m	10m

全員正解の人の中から抽選で三名にポカリスエット、というのはウソ。しかしみんなわかるか？ 先生はもちろんわかりませんでした。

資源ゴミ回収のお知らせ！

16日～18日の3日間、資源ゴミ回収を行いますので一人一回は、ご協力おねがいします。

(新聞と雑誌は別にしておいて下さい)

生徒会一同より

学年通信 わんぱく PART2

板中3年5月17日(金) 第5号

「ふるさと」を学習しての No1 です。心して友の意見に耳をかたむけて欲しい。

丸岡忠雄「ふるさと」を学習して

※今日の5・6時間目に公開授業がありました。「ふるさと」という詩…。自分のふるさとも必死でかくしていこうとする！これはやっぱり差別している人がいるということです。ふるさとを言うと差別される。ふるさとを言うと、だれもかもに去られてしまう。だから言えない。最後にせの先生が話してくれました。丸岡さんの友達が首をつったこと。指がちぎれてしまったこと！ここまでしても、とれがいけないことかもわからないのだろうか？人が死ぬというのは大変なことなのに…。そういうことに気付かずに…。差別によって何人もの人が死んでいくのに、差別している人は責任をないと思っているでしょうか？やっぱりおかしい。こんなままではいけない。この問題を本気で取り組んでいきたい！

※今日資料を学習して本当にふるさとをかくさなければいけないというのはいやなことだし、ずっと心につっかえると思いました。Iさんが勉強してないから差別したり恥となるとか、ぼくらは勉強できるしだから真剣にしたいとか言っていました。その時思えのは国に対しても腹が立ちました。憲法にも人権の尊重とか平等とか書いてあるのに、こんな大きな問題に無関心だったことです。今はだいぶよくなってきているとは思うけど、なんかそれは心の中にしまって言わないからそう思うしかないかなとも思えます。もっと多くの人々に、この公開授業みたいなものをやってほしいし、見に来てほしいなと思いました。又そういう所があれば、せひ見に行きたいなと思いました。

ぼくは、ふるさとは、ぼくらの思い出深い土地であって、何よりも心強いし、ぼくらの最高の場所なのに、そのふるさとを言うことによって差別されたり、自分も苦しめてしまうような、こんなふるさとはいらんと思わせるような場所になってしまう。どうしてふるさとの土地で差別するのか。本当にはがいい気持がしました。

※今日の学習はよかった。丸岡さんの気持がよくわかった。ぼくは話の中の人物を自分かこの人の立場になったらどんなにつらいだろうと思うことがある。前の道徳の時間、話を読んで本当に涙が出そうになった。ぼくは涙もろいから、こんな話を聞いたらすぐポロッとでてくる。それもいつもあくびをしたふりをしてごまかしている。先生も必死になっていたからよくその気持がわかった。道徳の時間(公開・全体授業のこと)が終って友達が言った言葉「あーねむたかった」この言葉を聞いたとき、ぼくは「なに!? 今なぞゆーた。ねむたい? 今なにしょったんな。このタコ。お前、今、先生と一緒に勉強したんちゃうんか。どついたろかいな。」と思った。ぼくはガックリきた。ほら人間やけしねむたいときもある。だけどあの時の真剣な顔の先生を見たらそんなこと、おこらないはずだ。

※第二回公開授業があった日(むずかしかった。)今回の全体授業もいつもと同じようなものになってしまった。いつも一部の子が発表する。自分の意見を言いたい子、関心のない子、いろいろな子がいると思うけど、いくら心の中で思っていてもなんにもならないと思う。良い事でも悪いことでも口に出さなくてはいけないと思う。人がしてくれる。言ってくれるのを待っていてはいけないと思う。自分の口で自分の心の中にある本音をいわなくてはいけないと思う。つらいことがあるなら、友達に言っていっしょに考えていけばいいと思う。つらい思いのままで公開授業を終ってほしくない。どうすればみんなが自分達の思いも言えることができるのだろう。こんなことは高校へ行ったら絶対にしないと思う。この中学生のときにきちんと勉強しておかなくてはいけないと思う。「あの時やっておけば…」とかって絶対に後悔してほしくない。私はその為にどうすればいいのだろうか。本当のみんなをさらけ出してほしいと思う。そしてそれができる公開授業にしたいし、みんなと一緒に考えていけるほど勉強して、いろいろな知識をつけたい。

先生の思い

※同和問題学習のあとのプリントに、自分の苦しく切ない思いを、そのままに綴ってくれる自分の心の奥にある差別心をみすえ、そんな気持を憎悪しながらも洗いきれない本音を書いてくる。そんな人が急激にふえてきている。今までふたをし、開けたことのなかった部分を、見つめはじめた。建前だけではいけないことに多くの人が気づいてきた。建前だけでは少しも議論は深まらず、自分のことととらえられず、進歩も発展もない。又本音ばかりでもどうにも動かなくなる。

大切なことは、本音の中にある自分の弱さを認識し、互いに同じ人間としての弱さや苦しみを知ったうえで、それを見えようと、スクラムを組んで共に

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月17日(金) 43号

「ふるさと」学習 No.2

苦しみながらも人間の強さや、やさしさを信じて頑張ることだと思う。自分の本音を凝視し、それを越えようとすることがスタートでなければならない。「峠を越えて」行きたい！今の峠はどこまで本音で自分もさらけ出していけるか、ということだろう。

自分をさらけ出すのは、そう簡単ではない。それどころか大変なことである。何がそれを可能にするか、さらけ出した自分を支えてくれる仲間がいるか、さらけ出した友もどんなことがあっても支え続けることができるか、それしかないと思う。その為に実践している公開授業なのだ。

※先生達も、先生自身も、今少しずつ変わりつつあることが自覚できる。よく「子どもに（つまりみんなに）教えられる」という言葉をつかう。本当の意味はわかっていなかったと思うが今それを実感しつつある。みんながら本音の言葉がでてきたとき、それにどうこたえ、どう同和問題学習にとりくんでいくのか？そんな重い気持のなかで、なにかが見えはじめている。みんなと一緒に苦しみ考えることができていきそうな気がする。それらは昨年の「私の目を見て」から始まった。なかなか100%の人が同じ歩調にはなりにくい。しかし先生もみんなも、一歩ずつ進んでいこうに思う。本音が出てくることで、みんなと先生が同じ土俵に立てた、そう思っている。ある先生が「今まで、授業は上手にできればと思っていた。しかし、この子ども達の思いを知って上手にする必要はない。自分をぶつけていくことだと思った。正直いって、初めの頃は公開学習は、一種のショーのようなものだ、と思っていたが、そうではない。公開授業によって、みんなが同じレベルで考えていけるようになった。性根をすえてかからねば…と思う」といった意味のことを言ってくれた。先生も同じように思う。そして、この先生の言葉に元気づけられている。

※丸岡さんが自分のふるさとを語ることができるまでに、三年近い年が経っている。そう簡単に自分の思いを、多くの友の前ですべて出せるものではない。「言いたい、言わなければ！」と思いつつ手が届かない現実がある。その思いも知り、わかることも、又大切なことだ。今すぐ言えなくてもいい。しかしゆっくりと確実に、言える自分に近づいていきたい。そのためにも、みんなと一緒に、本当に一緒になって感じ、考えていく。

※情熱や誠意は必ず通じるものだ。もしも、公開授業でゆむくなった人が出たとしたら、先生達は、まだその力がなかったと考えていく。しかし一方には授業を参観し、全体授業では当事者となる一人一人の情熱や誠意がある。双方の思いが一致してこそ本物になる。同和問題学習は教科や英語ではない。今どう思っているか、どう感じているかどうしたいのかを問われる。各々が胸のうちにあるはずのものだ。それを出していく。何度も言うように手を挙げるのは、むずかしいものだ。しかしそれを乗り越えねば話にならない。発言している友を傍観者の目で見ることあるまじき、恥ずかしいことだと思う。

あゆみより

【アルバム写真撮影】（さすがにみんな緊張していた。女子なんか髪をとくのに必死。さて効果はあったか？）

※今日卒業アルバムにのせる写真をとりました。N君とN君が笑わせるのでなかなか写真がとれませんでした。二枚とも笑っていたような感じがします。N君はN先生に笑わされたと言っていました。卒業アルバムに、ぼくとN君だけが笑っているような感じがします。⇒頑文字で書いたら、Nばかりになった。N君達がすましているのを見たら吹き出すところでした。

※今日写真をとりました。先生が笑わすので顔がひきつりました。先生が終わるまでいて笑わしてやろうと思ったけど理科があったので行きました。くやしかったです。

⇒へェー、そんな事があったのですか！…フーン。

◎ということで撮影は終わりました。当日休んでいた人、うつせなかった人、あまりにもあまり…にうつった人は後日再撮影します。日は未定。おって連絡します。

※四名のあゆみを見て、先生が思ったことを書き出したが、みょうになってしまい、うまく思っていることを表現できない。なにか、いっぱい書きたりない気がするが、とりあえず今回はふくらしておきます。このあゆみにもみられるように、いろいろなことに対する「怒り」を大切にしていきたいと思う。怒りは我々を支える一つの柱になる。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月17日（金） 44号

1日おくれのテスト発表
時間をかけたものの勝ち!!

中間テストの時間割・範囲の発表です。

◎今でも時々「先生、実力テストの方が大事で、中間テストや期末テストはそれほど大切ではないでしょ」という人がいる。思いちがいもはなはだしい。今やっていることはりっぱな入試の範囲です。社会や理科は三年生の分野が確実に1/3は出るし、他教科はもっと多い！例えば数学は三年生で習うことに関連したものが半分はある。今やっていることを二度とやり直しをしなくてもすむように、中間テストにがんばることは、りっぱな受験勉強である。受験勉強とは授業とは別に、一、二年の復習をすることであると思っている諸君、感違いだけはしないように。

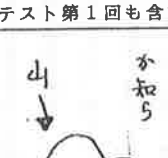
※先生方のいきごみもすごい。たしか昨年のことだった。社会科で「訂正ノートを出さなかったら半ゴロシにする」というすごいのがあったが、この前三日へ行ったら黒板に「訂正ノート、明日提出。出さない人は首しめる」とあった。社会科の先生すごい。B先生は「先生、ワシでないよ、ワシでない。シャレにもならん」と言っていた。A先生も心あたりがないようす。さては、生徒諸君の作文か？

中間テスト時間割・範囲

日	時	教科	範囲
24日	1	社会	・進級テスト、第一回実力テストの◎の中より各一題、計二題をだします。配点は３０点ぐらいで、問題はそっくりそのままです。 ・教科書　P8~P27
	2	数学	・教科書33Pまで。 ・数学演習をしっかりやっておくこと。
25日	1	国語	・教科書「鈴の鳴る道」「車掌の本分」「動物の文化的行動」 ・国語の学習 P1~P5, P9~P12 ・授業中学習したプリント類。 ・漢字は、範囲内すべてよく勉強しておくこと。（とくに、漢字の学習で勉強しておくこと。）
	2	理科	・教科書　P94~P110 ・ノート　P2~P17 ・探求の理科　P1~P8
	3	英語	・Lessson 2 の終わりまで。（P8まで） ・ワーク　P17まで ・各プリント。実力テスト第１回も含む。

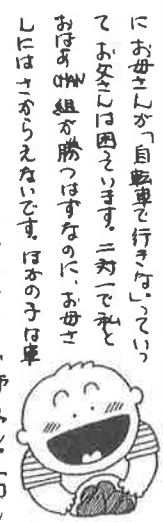
あゆみより

※今日ほとんど家に帰る途中で初めてみたものがある。何というか知らない。



より少し上に雲があるのも見た。山の頂上から見てみたいなあと思った。▶板野ではめずらしいですか？山でよく見かける。仙人でもいきそうな気になる。

※今日朝お父さんが送ってきてくれました。雨の日に送ってもらったのは今日で二回目です。いつもおばあCHANは「おくってやり」って言うのにお母さんが「自転車で行きな」っていってお父さんは困っています。二対一で私とおばあCHAN組が勝つはずなのに、お母さんにはかなえないです。ほかの子は車で送ってもらえるのになぜっていうとお姉ちゃんが一回も車で行きませんでした。お父さんが「迷ろうか」って言ったのに友達と自転車でいきます。熱があるのに学校に行くっていうし、私とは全然違います。私は自分の体のことは分かって休むべきで無理はしないし、「おくろうか」と言われれば先に車に乗るなどしています。お母さんに言わせれば、「おまはんはたるんどる」になるけど、私は、お姉ちゃんは筋金入りの頑固者、私は人の行為を無駄にしない素直な奴だと思います。お母さんに言わせれば「わがまま」って言葉もあてはまります。▶うーん、困った。先生ほどちの味方もできません。ただ素直かどうかは…。お母さんの方が強いのは先生チも同じです。



※今日朝は八時におきました。今日は部活が休みなのでゆっくりしようと思ったけど美術の宿題があったのでやりました。さっきらんぼを置いてまわりに英語をかきました。今日はうでの上の方が痛くて痛くてたまりません。きのう体育の"ななめけんすい"が67回ってしたいつもの腰の倍の太さになってしまっています。うでをまっすぐにあげられません。あした自転車にのれるでしょうか。おばんも持てません。困りました。▶もう大丈夫ですか？神経ったる証拠？それとも日頃のたんぱく不足？さて、どちらでしょう。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月18日(土) 45号

ゆりん用「カット」 暇なとき にたのみます。

独り言

※二Aの公開授業、そのあとの全体学習と充実した時間がもてた。みんなの熱気が先生の方をもどんどんと伝わってくる。二年生の時とくらべて、むしゃ確実に進歩してきた。それは同時に、先生達自身の進歩だと思う。みんなにつっかれ、つっかれしながら大きくなっていきたいと思う。先生達はどうなのかということも、きおう言おうと思ったが、みんなの気迫を感じ、次の全体学習の時にまわすことにした。南八十五名(十三)八名で、互いの思いをぶつけ合う場になってきた。一人の傍観者も出すまい。

※中間テスト前ということで、試合を直後にひかえている部以外は、活動は中止。テスト勉強に専念してもらう為だ。中間テストは時間をかけてとりくめば必ずその成果はあがる。自信をもって全力を尽そう。あそびまわらんように。「土曜ワイド」なんか見たらいけません。

※今日は久しぶりの五月晴れという気がする。さわやかで気持がいい。こんな日に、山や海や川へ行ったら気持いいだろうなあ と思いつつ時間がとれないのが残念。みんなは勉強。先生は仕事。

あゆみより

※給食の時のビデオ、一回本番を見ているのにとてもおもしろかったです。給食、食べるのも忘れてついテレビの世界につかってしまいました。台本とおにはなったセリフがどんどん飛び交ってそれがまたおもしろい言葉だったからみんなに受けたのだと思います。

⬇あれは本番を見ていなかったらおもしろかった。ビデオではちょっとセリフがききとりにくい点があった。又、いつの日にか同窓会の時にみてみたい。それぞれの間のテープの管理責任者は森口先生。

※今日朝学校へ行く途中、近所のおじいさんにあえ、「私が「おはようございます」と言ったら、おじいさんも「おはよう」と言ってくれて、「もう何年生?」と聞かれたので「三年生」と答えると、「三年生か~三年生っていったらわしら兵隊に行っとった頃やなあ」と言っていました。私達みたいな体で兵隊に行ったなんてやっぱり戦争はむごいものだなあと学校にてきそう思っていました。

⬇先生の親の代、みんなからいえばおじいさん達の世代がそうなる。先生も戦争は知らない。そしてもう先生が戦争に行くことはまずないだろう。しかし、先生の子や、みんながもし戦争に行かねばならない事になれば、死んでも反対をする。

※今日数学の時間、音楽室から"森のくまさん"がきこえてきました。私は一瞬耳を傾けピアノの音を聞いていました。すると、失礼ですが、森口先生の姿がうかんできました。

⬇失礼ですがーというところが、おくゆかしくてよろしい。先生たちの場合はそんな遠慮なんかなくストレートにうかんできてしまう。はたしてどちらがいいのでしょう…。

今日、朝から雨なので朝の学習いくのをやめようと思っていたんだけど、続けなければ意味がないと思って、雨の中、行きました。そして社会をしました。みんなより一つ勉強したと思いました。これからも続けて朝の学習に参加していきたいと思います。

⬇朝の学習に参加することによって一つだけ得をした。プラスになった。そんなつもりの勉強でいい。一年間続ければ大きな力になってくる。先生たちも頑張ってい。

※昨日はS君が休んでいたけど、今日は来ていました。だから班の中で昨日のように男一人ではなく二人だったのでなんだか理科の実験のときは本当にうれしそうでした。そして一人大きな声で「実験、実験!!」と節をつけて陽気に言っていました。それから昨日はマグネシウムをにおい、今日は直接塩素のにおいをかがせました。鼻がいたいようでしたが、S君に「どんなにおいがしたん?」ときかれて「塩素のにおい」と答えていたのには、すごいと思いました。塩素のにおいは、季であおぐようにしてにおうのが本当で、直接におうのはA君ぐらいだと思いました。

⬇塩素や直接においたらいかん。昔、硫化水素を直接かがせてしまって、目むいたことがある。実験は先生のいうことをよく聞いてからやれよ。でも、実験はたのしい。

⑥遠い先のことを考えるより今、光り輝いていたいと思う。

持采は今のつみ重ねの上にあるのだから、今輝いていなくて光が輝くはずがない。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月22日(火) 46号

2日とばしてしまいました。3BのNさんに、きびしゅーさいそくされました。

きびだんごは安政三年創業。
歴史ある和菓子です。
甘い夢を少しずつ、お早くお召し上がりください。
※疲れたときは甘い物がよいと。
昼休みにコーヒーかお茶で

。こんな紙が三年生の先生方の机上に置かれ、上に「きびだんご」三コがのっていました。

。その少し前、「佐野先生、安政三年って、いつ頃ですか？安政の大獄の頃ですか」と豊田先生の大きな声。何事!?と佐野先生「エート、安政大獄は一八五八年じゃけん、安政何年かなあ。ちょっと待っとよ」と席を立って調べに行き出した。あわてた豊田先生「あっ、あ、いいんです。いいです。すみません……」

。何故、豊田先生の質問が出たか？

。「きびだんご」の箱が先生の机の上にあった。豊田先生の大好物だから、開ける前にじっくりと包装紙を見ると、「安政三年創業」とあった。「これはすぐにはおけないワ」と思った先生は場所柄もわきまえず大声を出して聞いたという訳。その執念に感心するやら、あきれるやら…。「もうアホらしい。先生、ねんりんに書いとよ!!」と佐野先生。（ちなみに大獄は安政五年でした。）

。豊田先生は、ねんりん初登場のような気がするが、にぶくおもしろい。S先生やM先生もこのところ顔色なし。まわりを固まれて、先生は、先生は……。

※明後日から中間テスト。勉強はできるか勉強は!? 朝の特訓を見ていても、大半の人がかなり真剣にとりくんでいるように見えるが、中にはまだボーっとしとる人もいる。今日も帰宅後かなりの時間がとれるはず。気合いを入れて頑張れ。二時間半ぐらいで「あー今日はよおけした」とかいて満足しているようではダメですよ、T君。

ちょっと楽しい
あゆみより

※やー三日も書かないですいません。資源ゴミも終、てひと休みの今日も塾があり上板中の友達とてこへ行っているとなんと校長先生に出会った。下の絵のようにいつもと同じ灰色の背広に、実はスーパーの買物袋（だったと思う）を下げていた。あくまで紳士のような校長先生の意外な所を見た気がしたが背広に袋はやめてほしかった。かといってジーンズにポロシャツはもっといやだが…。

そりゃ校長先生やて家に帰れば（帰る途中でも）家の手伝いくらいはするでしょう。きっと奥さんにたのまれたんでしょうな。ひょっとすると風呂のそうじもしているかもしれん。みんな家に帰れば同じこと。ジーンズにポロシャツ姿も見てみたいような、やめてほしいような……。

※今日いのこりで社会の再テストをして100点とるまでいなしてくれませんでした。おまけに森口先生は「勝手にいんだらあかんぞー」と言って、そうとう気けんが悪そうだったので、みんなふるえあがっていました。

▼テスト前だから森口先生も、もえにもえているのでしょう。いのこりまでしてくれるのだから、みんなも必死でやらないかん。気けんが悪かったのはどうしてかー先生もわかりません。

※今日はよく寝て頭の中がすっきりしました。時間がたつにつれて頭がくさったように何かがたまってきました。起きてすぐ勉強するのが勉強のプロだなと思いました。▼いいことを言う。「勉強のプロか、みんなはもう学校に入ってから九年、テスト前くらいは勉強のプロになっていい。今、板中三年に何人勉強のプロがいるだろう？ 君は勉強のプロか？」

※今時間割をしながら気づいたんだけどな、なんと明日は教科が三時間もあります。いちばんきらいな教科が一日に三時間もあるなんてとてもうれしくて涙が出てきそうです。明日はちょっとしんどいけどがんばりたいと思います。▼三時間ですか……フーン。

学年通信 わかくさ PART2
板中 3年 5月22日(水) 47号

3Aの諸君、いい授業を見せてくれました。ありがとう。おとに続きます。

あゆみより

【三A公開授業・全体授業より】

※今日の公開授業はいつもと違っていました。一つはみんなが静かなことも言わず、本当のことを発表していたこと、手を挙げる人数がいつもの二倍くらいになっていたことと、本当によかったです。

※今日の公開授業は、本当にすばらしかったです。私の心の中も自分の事のように思えるようになって、すごくあつくなりました。三-Dの公開授業の時もどんどん自分の考えを発表したいです。

※今日の三Aの授業はよかったと思う。D組の大伏君が熱くなったと言っていたけど、私もちょっとなんか熱くなりました。今日が一番よかったと思いました。みんなだんだん積極的になってきているので、私も頑張って勉強していきたいです。

※今日の公開授業は一味も二味も違うものでした。みんなが本当の自分の心の中にあるものを言い、みんなと一緒にたたかっていこうとする意欲がとてもわかりました。今度の授業は私達なので、今日やった授業よりもっと深い授業をしたいです。

※今日の研究授業は今までよりすごく、ほんとうに差別をなくしていこうという感じで、考えたり、話し合ったりしました。けど、私は一人ひとりの意見を聞くたびに気が重くなった。私は今まで知らず知らず差別して人を傷つけたことも反省したいしまたこれからは差別をなくしたいという強い気持ちを生み出していきたい。

※今日の五、六時間目の研究授業はとてもよかったと思います。特に六時間目！みんなそれぞれの心の中の思いを発表して、みんな一生懸命で！中には、たくさん涙をうかべている人もいました。私もSさんやIさんやNさんの意見を聞いて涙が出てきました。みんな私と同じことを思っているんだなあと思うと自然に出てきてしまったのです。私も手を挙げて発表しようと思いました。でもいざとなると手が挙がらなくて、手が重く感じました。「勇気を出して手を挙げなければ…みんなのように意見をのべなくては…」とは思うのですがやっぱりダメであがりませんでした。そういうふうに悩んでいるうちに一時間終ってしまいました。でも私の言いたかったこと全部Iさん、Sさん、Nさん、Eさんが言ってくれたのでよかったです。これでもし、私と同じ意見が出ていなかったらずっと後悔しなければなりませんでした。次回からは頑張って発表したいと思います。

⬇

以上六名のあゆみをのせました。

三Aの授業、そのあとの全体授業と、又一歩前進したなという思いも強くしました。前にも書いたけど本音で語ることができるようになって、新しい段階にすすめるのだろうと思う。「勉強する」というよりも、むしろ友達と語りあう、意見をかわす、そのことによって考えていく、そういうことだろうと思う。

最後の人のような考え多いと思うのですよ。でも発表している人にしてみたら自分の意見がみんなに受け入れられているかどうかよくわからない。そういう不安をもちながらがんばって発表してくれている。同じ意見でも、そういう人がどのくらいいるのか、これはやはりまわりの人が「私も同じ考えです」と言っていかなければわからないことでしょう。同じ考えでも、どんどん意見を言うことは、仲間をつくるうえで欠かせないことだと思う。

【ちょっといい話】

今日、部活で阿部先生がとてもいい話をしてくれました。自分の心の中だけにとどめるのはもったいなくて、誰かに聞いてもらいたくて…だから別に書きます。

ある学校の隣上部には幼稚園親を事故でなくして、施設から中学校に通っている子がいる。もちろん親がいないからジャージやシューズを買だる余裕もできない。唯一持っているユニフォームとスパイクで大会に出場する。スパイクはヒモが切れてボロボロだけれども、その子はやっぱり種目で3位以内には入り、優勝する時もある実力を持っている。それでジャージやシューズの買ってもらえない、その子に寂しい思いをさせない為に、チームメイト達は全ての大会には全員体操服と通学ぐつで出場する。そんな内容でした。どこの学校か私にはわかりました。その学校には県でトップレベルの子が何人かいて、中には全国レベルの子もいます。そんなすごい所なのに、なぜ体操服でや来るんだろう…と前から疑問で、少し変に思っていましたが、先生の話を聞いて、そんな自分に腹立って、親に何でもねだる自分がなさけなくなりました。人は外見だけではないんです。その人の内面も知らないのに色々言うのは人間失格ではないでしょうか。私も、内面は素晴らしい人になりたいです。

学年通信 わくわくPART2
板中3年 5月23日(木) 48号

みんないろいろなことを考えている。考えることができている。うれしいなあと思う。

いっしょに考えたい

あゆみより

恐い人とか、悪いことしている人を不良と決めつけてしまう。おちこぼれは相手にしてくれない。厳しい現実をあっていまの社会には自分勝手は通用しない。まともな所へ入るため勉強する。勉強できたって校則やぶっちゃね。

こんなことよく考えるんだ。同級生も見ていると、こう思えてくる。

サラ、ネクタイしない。したって短い。名札、えり章つけてない！スカート長い。くつ下白じゃない！セーラー服もしぼる。短かいの着る。パーマかける。ノーヘル。くつ。男子。カラーつけない。名札、えり章つけない！友達の学生服。くつ。ノーヘル。

校則やぶったって楽しくはない。やぶったって、かっこよくない。あたりまえのことしてなきゃね。自由もそりゃ欲しいけどさ。先生はどう思いますか？

↓校則を守る。規則を守るということは、精神的な面まで抑圧を受けるものなのかどうか。規則は受け入れても、心は大きくはばたりていい。自分の生き方の中に、校則を超える崇高なものをもっていい！ネクタイをつけないこと、カラーをつけないことは自分にとって一体何であるのか、自己主張とはどういうことか、自分の存在感とはどこにあるのか、そんなことも考えてみたいと思う。

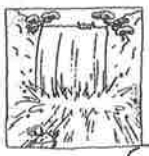
「落ちこぼれを相手にしてくれない厳しい現実」――たしかに一方ではそうであるが、又そうでない現実もある。人を人として見、評価しようとしてくれる人も多い！

行動は許せなくても、そこに至った感情、思いは万人に共通することもある。共感できることがある。そんな思いを支え合う仲間があればと思う。

今日、室にふうせんの束が飛んできました。聞いた話によると、最近はふうせん飛ばすも環境汚染になるそうです。理由はふうせんがほんで海におちるとカメやイルカが王子と間違えてそれを食べ、胃の壁にへばりついてとれなくなり食べた王子も消化できなくなって死ぬそうです。飛んでる時はキレイだけど、やっぱり動物が死ぬのイヤだなあって思いました。

↓最近よく問題になっている。学校でも、ふうせんをとばすことをやめるようになったところが多い！海にすてられた必ニールなんかもクラゲとまちがってカメが食べて死ぬと聞いた。やっぱりふうせんもやめないん、コマーシャルでないが「地球にやさしく」か、結局、人間にやさしくとつながっていくのだろうから。

・今日から交通部で朝の立哨をはじめました。本当は五月はしないはずだったけど先生のところに言いに行って五月いっぱいは、ぼくらがやります、ということで今日から始めました。五月いっぱいは交通部の部長副部長、他二人で、毎朝七時四十分から八時十分までの三十分間やることになりました。あいさつをしながら、あごひもとノーヘルの注意をしながら呼びかけているんだけど、実際には、ほとんどの人に無視されてしまいました。そのようなことには少し腹が立ちました。頭を下げておねがいしながらやっているのに無視されるのは、やはり少し情なく感じました。実際に注意してやってくれる人数の方がとても少ないです。学年別にいってみると一年生は入ったばかりだから少ないけど、二年生あたりからふえてきて、三年生でも一部の人が守れていないようでした。朝早くから起きて学校に行く立哨するのはつらいけど、五月いっぱいがんばって、少しでもいいからへらしていきたいと思います。



・ぼくはこの頃少し不安に感じる事があります。交通部で朝の立哨もしていると、ぼくらが注意するのはあごひものこととヘルメットの着用のことだけだったけど、毎朝先生をみているとシートベルトをしていない先生がいるということなので、部長の竹若君と話し合ってみて、今日からシートベルトしていない先生も調べるということになりました。これはぼく達の勝手な行動のようですが、もしものことがあれば、なんかの役に立つだろうと思うのでがんばってみたいと思います。……この活動の成果がどんどんあらわれてきているのでうれしかったです。今までは頭下げても、無視するか、頭を下げて、そしゃくするくらいで声に出してあいさつしてくれるのは少数だったんだけど、今まであんまりしてくれなかった人がしてくれたりすると、やっぱりうれしいです。全体的にみると、この前はじめたときよりも、だいぶふえてきたみたいだし、あいさつを返してくる回数もふえたし、あごひもとヘルメットの(違反者は)きのうは114人で、今日は92人となっとず(減少しつつあります。この調子であいさつのできる子がふえてノーヘルとかがへってくれるのが今の願いです。

↓コメントをかくとこうがなくなったので次の47号に、関連したことを書きたいと思う。ともかく、自主的な活動というところがいい。三年生は、仲間の一人として必ず協力だ。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月23日(木) 49号

テスト勉強 頑張れ!!

【48号の続き】

先生方知っている限りでは、このような自主的な活動はじめてだし、これを機にさらに運動を盛りあげたい。朝早くきて、頑張ってくれている人がいる一方で、三年生が一ヘルで手気でおきるのは困る。みんなの協力というのは、まず、ヘルメットを着用して交通ルールを守るところからはじまる。この交通部の運動をきっかけにして他の部も積極的にがんばってみよう。

先生たちもシートベルトの着用、心していきます。

	自転車	ヘルメット	シートベルト
20日	84人	20人	1人
21日	76人	6人	3人
22日	79人	13人	6人
23日	71人	11人	4人

交通部の4日間の調査結果です。

スナップ

「きびだんご」のその後

※きびだんごの安政三年でわいた次の日の昼前。豊田先生が席を立ち「きびだんご、きびだんご…」と言いながら、森口先生の机の上をひっかきまわしていた。そして次は佐野先生の机の上…と順にまわっている。腹へって腹へってたまらんようになって"もしやきのうの、きびだんごが残っているのでは…。もし残っていたら、コリャといただいてやりましょう…"と思って捜してあるいたらーいろと想像してみ、腹かかえ笑った。で結局は一コもなくしょんぼり自分の席へ。一部始終を見ていた小野寺先生(実は、豊田先生は三年間小野寺先生に教えてもらい、担任までしてもらったそうです。)教え子の姿を見るに見かねて、自分がもっていたおかしを五個ぐらい(どこに隠していたんだろう)を豊田先生にあげた。先生は、幸せそうな顔して、そのおかしを一番上のひき出しに大事にしまいました。

それにしても、おかしを捜し歩いた女の先生は、先生方知っている範囲では、はじめてです。

※今日、S先生、おシャーのきれいな服をきてきた。びっくりした。あーきれいな服!!と思っていたら、すぐそれもぬいで、例のピンクのに着かえた。一体何の為に着てきたのだろう…。

※体育が終って教室に帰る途中のN君、ジャージの上着を顔にかぶって「青ズキン!!」と叫んでいる。急に暑くなると、どうもイカン!

※それにしても今日(23日)は、早退者が多い。欠席者もいる。疲れからか体調を崩している人が多くなっている。テスト前でがんばりすぎているのか?明日から中間テストだけに心配している。テストは全員受けてほしいし、といってフラフラしながらの登校もできないだろうし…。とにかく規則正しい生活を心がけよう。

連絡

◎明日は中間テスト。一校時は社会、二校時は数学、三四校時は映画会です。給食はありません。午後は帰宅してテスト勉強。

◎土、日などにフラフラしてみたり、小学校へ行って28弾であそぶなど、まわりから、ひしゅくをかうような行動、まさか三年生にもなって、ないとは思うが、よく心して行動すること。

あゆみより

※今日弟がやけどをした。上の絵のように、おでこにやけどをしました。すごくかっこ悪いやけどでした。兄弟だからほくも恥ずい。→やけど、たいしたことないですか?最後の一行が気にいりました。

※なんかこの頃Yさんがへん。なんか私の手をにぎって手にチュッとするのです。それとか手をつないで走りまわったりするのです。こわいですワッ。私の事が好きなんだろうか?ゾクッ。→なにせ暑いから…。多分青ズキンと同じ心境なんでしょう。

※この頃お兄ちゃんはヒステリックで一言でも気にくわないことを言うとも〜ガミガミおこって私に用事はいいつけるし、私は一番下だからってお母さんも、お父さんもお兄ちゃんも私を使うので私は一番不幸です。それで私は「これでは私があまりにもかわいそうだ」と思って反対に用事をいいつけるとおこられてしまいました。いつもお兄ちゃんだけえらそうに言うのはちょっとはがいいです。一日だけ私の方が歳上になれたら、いっぱいいっぱい用事いいつけて、いっぱいいじめてなぶり殺してやりたいぐらいです。そのうえどつきまわして、ふんでふんで、最後のとどめに、にぎりっぺというのはうそでっーんほうやなあー、ととめはかわいそうなんでそこらでおいときます。→すさまじい。弟妹は大事にしましょう。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月25日(土) 50号

昔は50号といえば、"たいしたもの"とおもったが、今は普通じゃ。

連絡

(1) 六月一日から夏服になります。板中は、六月一日を含む一週間が更衣の準備期間になる。来週一週間は、冬、夏どちらの制服でもかまいませんが、その次の週からは夏服だけになります。

(2) 27日(月)に学級写真を撮影します。休むとスミに、ワクに入って写るようになる。体調の悪い人もいると思うが、27日は頑張ってきて下さい。(だから27日だけは冬服で登校)

(3) 今日中間テストが終了です。ホッとしたところでちょっとかわいそうかなあと思ったのですが、今月上旬にした第一回実力テストの結果を返し、第二回実力テストの範囲を手渡します。

実力第二回は、今のところ六月三日=国、英、四日=社会、五日=理、英の予定です。くわしくはあらためて連絡をしますが、さっそく今日からでもコツコツと取り組んでみて下さい。ついでに、六月十二日には県下一斉に共同テストがある。これは一日で主教科やります。とにかく三年生はテストの連続で息をつく暇もないのです。

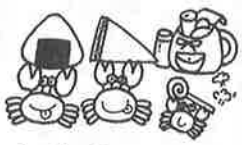
【注意】

(1) 小学校へ遊びに行くのはいいが、行って、ワルソせんように、中学生として十分慎ない。

(2) 海や川は保護者同伴が原則。特に禁漁区で釣りなどしていたらつかまるよ。絶対ソウせません。

あゆみより

※ 今日、風呂のフタを開けると、"しょうぶ"の葉も束ねたものが入っていました。家の庭にはしょうぶも何株か植えてあって、それがとてもきれいな緑色になる。今頃はよくやることです。お湯の中にしょうぶのいいにおいが広がってとてもリラックスできるので、私は、"しょうぶ湯"が大好きです。これは祖母がやってくれるもので、いつもながら昔の人の知恵には感心してしまいます。先生は、しょうぶ湯って知ってましたか?



⇒ 忘れてしまっていました。それだけ生活にうるおいがなくなったのかなあ。昔の人は、むしろ、今より貧しくて、汗まみれになって働いたと思うのに、どこかで、生活を楽しみ、自然の中に共にあるようなところがある。今の人間より昔の人がえらいのかも知れん。

※ 今日"学校へ行こう"というTVを見ました。すごい先生がいて、30で独身、だけど生徒からも信頼されていて、恋愛相談もうけたりしているんです。私はそんな先生がすごくほしいです。なんでも言える先生がいいです。けど、現実にそんな先生がいたら、みてみたいもんやなあーと思いました。

⇒ ドラマでよくもすごい先生が出るでしょう。あんなのを見ると、「あ、あれこれはマネしてみたいなとか、これはできんな」と不思議に思えて見ますよ。"日暮れて道遠し"です。

※ 今日勉強していたら、八時ぐらいお父さんが カメが道を歩いているのを見つけ 教えてくれました。見に行ったらのっそりと歩いていました。すごく大きかったので、つついたりしてみたら首をひっこめたりしておもしろかったです。道のまんなかで そんなことをしていたのでその時車がきていたら!! 今思うと何で道のまんなかでカメとあそんでいたのだろう?

⇒ そのカメはそれからどうしたですか? そのカメでも車にひかれたら死ぬでしょう。カメは無事か?

※ 数学の時間、電卓を持っている子はもってくるということになっていた。N君ももってきたけど、「N」がついていない。結局、もってきていない子にまじってかりていた。そして一応計算をすませた。計算がおわる時ぐらいに仁木先生が「ふつうの電卓には「N」が必ずついている」と言ったとき、N君の電卓をおもい出して、ぼくとN君二人で笑っていた。そして仁木先生は不思議そうな顔をして「西川と長坂のあの幸せそうな顔」とかなんとか言っていた。仁木先生はぼくたちの笑っている事柄の意味を知らないのであった。

⇒ ほんとうにわかるか、わかるはずがないだろう。ほんとうに「N」がついてない電卓あるんじゃなかろー。知りませんでした。先生の研究不足でした。でももし次に買うなら「N」がついているのにして下さい。授業でも電卓を使う時代になった。